

初任者同士の高め合いを目指して

清水町立御影中学校

校長 宗形 真恵



1 具体的な取組

① 校内組織の工夫～ＯＪＴによる学び

4人の新採用を加え若手教員が5人（職員の1/3）を占めることから、ベテラン・中堅と組み合わせ、日常的なＯＪＴが実現できるよう学年・分掌を配置。また、所有免許同士の組合せが可能だったことから、日常の教科指導を全てＯＪＴによる研修とすることができた。さらに、初任者巡回指導教員も加え、新採用4人全員が所有免許教科の指導をベテラン教員から受けることが可能となった。

② 研修の機会～学びを成長につなげる

初任段階研修や校内研修、研修講座の受講、管内サークル研修等に加え、清水町が企画する研修にも参加している。特に、山下 勇教育長が主催した初任者向け研修会「フレッシュ教員『ジャンプ・アップ・セミナー』（JUS）」では、町が目指す教育や若手教員に期待することのほか、教育委員会の仕組みや教育行政の在り方について学ぶ機会となった。

③ リフレクション～次なる学びへ

研修後には報告を兼ねて「何を学ぶことができたか」「何が印象的だったか」について校長とリフレクションを実施し、学びの定着と次への意欲付けとしている。

現在は、学ぶことも働くことも「楽しい」と感じながら前向きに職務に取り組んでいる。

④ 初任者同士のかかわり～高まり合う

コミュニケーションの大切さを伝え、今年度採用の4人で過ごす時間を推奨している。また、互いに意見を交わしたり、作成したテストを見合ったりすることで、自分の現在地を確認できたり、新たな気づきが生まれたりする。互いに高め合える仲間として成長していくものと考えている。

2 今後に向けて

○事例から学ぶことを重視し、生徒指導を核とした授業改善や保護者対応、教員としての考えを膨らませていけるよう、ＯＪＴと管理職面談を適宜継続する。

○互いに悩みを共有し合える職員室づくりに努め、見守り、育てるベテラン層の役割を更に進化させる。



まとめ

**「育ち合う」「高め合う」仲間としての職場
づくりに努める。**